

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料7-2

議案第1号

協議会名: 武豊町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
知多乗合株式会社 (令和4年10月から令和7年9月まで運行)	青ルート(コミュニティバス)	<ul style="list-style-type: none"> ●接続タクシー制度について <ul style="list-style-type: none"> ・地域内移動サービスである接続タクシーは大幅な増加はしていないが、新たな利用が見られ始めている。 ・令和5年度の登録者アンケートと令和6年度の住民アンケートも基礎資料とし、利用状況を確認しつつ、将来に向けて利用しやすい制度となるように、引き続き検討する。 ●無料乗車券の交付によるクロスセクター効果の把握や分析について <ul style="list-style-type: none"> ・クロスセクター効果の把握や分析に関するノウハウを学ぶことから始めなければならないが、クロスセクター効果算出ガイドライン等の活用も検討し、把握分析に努めていきたい。 ●公共交通のメリットに係る情報発信について <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年7月1日に武豊町の公式LINEが大幅にリニューアルされた。今後は利用者が多いLINEも活用し、情報発信をする。 ●広域的な交通ネットワークの確保維持について <ul style="list-style-type: none"> ・地域等から要望が多かった、常滑市コミュニティバス「グリーン」の停留所について、常滑市との調整により3か所新設した。今後も周辺市町との連携していく。 	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 令和4年10月より、青ルートの見直しを実施。北部への延伸によりカバーエリアを増加し、新たな駅や医療機関、公共施設等と接続することにより、路線の機能・役割とサービス水準を上げた。 また、高齢者への無料乗車券交付事業を継続実施した。その結果、過去最多の利用者数であった前年度を更に上回り、目標値も達成した。 青ルート 目標:26,500人 実績:32,947人	<ul style="list-style-type: none"> ●交通会議でのPDCA <ul style="list-style-type: none"> ・各アンケート調査をふまえ、住民ニーズを反映した新しい地域公共交通計画の策定に向けた検討を進める。 ・計画の見直しと左記の事業評価を通して必要に応じた事業改善をする。 ●コミュニティバス・接続タクシー事業 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスについては、過去最多の利用者数となったが、利用状況を確認しつつ、利用促進を図る。 ・接続タクシーについても、利用状況を確認しつつ、高齢者の集会等に出向き、継続的な周知活動を実施する。 ・各アンケート調査結果を踏まえ、今後の取組み、将来の在り方について検討していく。 ●公共交通のメリットに係る情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・現状は限られた情報発信ツールであるが、幅広い層に対して情報発信ができるように努める。 ●周辺自治体等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き周辺市町と広域的な交通ネットワークを意識した情報交換や連携を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	武豊町地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	生活交通確保維持改善計画に基づく事業(地域内フィーダー系統)
----------	--------------------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>■武豊町地域公共交通計画より抜粋(R4/4策定)</p> <p><将来像> 誰もが安全・安心で快適に移動できるまち</p> <p><基本方針></p> <ul style="list-style-type: none">・市街化区域内での交通サービスの確保維持・ニーズが認められたエリアでの交通サービスの提供・公共交通を活用する生活スタイルへの転換・総合的な移動サービスの提供(地域協働)・時代の変化に対応した公共交通サービスの検討 <p><計画の目標> コミュニティバスの利用者数(1年間でコミュニティバスを利用した人数) 72,000人(令和7年度時点)</p>
-----------------------------	--